

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

## 病害虫発生予察注意報第5号

作物名：早植え及び普通期水稻  
病害虫名：葉いもち及び穂いもち

### 1) 注意報の内容

発生地域：県内全域

発生量：平年及び前年より多い

### 2) 注意報発令の根拠

#### [普通期水稻]

- (1) 7月21日～22日に実施した巡回調査(48圃場)では、葉いもちの発生圃場率33.3%(平年4.1%、前年2.1%)、発生株率10.6%(平年0.9%、前年0.4%)であり、平年及び前年より多い(図1, 写真1～2)。
- (2) 葉いもちの発生状況は圃場ごとに異なっているが、山麓部の常発地での発生が多く、発生株率が100%の圃場も一部にみられる(表1)。
- (3) 巡回調査圃場以外の一部圃場において、本病によるずり込み症状がみられる。

#### [早植え水稻]

- (4) 7月22日に実施した山間部の巡回調査(16圃場)では、葉いもちの発生圃場率43.8%、発生株率9.3%(平年6.6%、前年12.5%)であり、平年よりやや多く、多発生した前年よりやや少ない(図2)。
- (5) 巡回調査圃場以外の一部圃場において、本病によるずり込み症状がみられる。

6月上旬以降、曇雨天が続き、感染に好適な条件が継続しているため、発病はさらに進展すると考えられる。

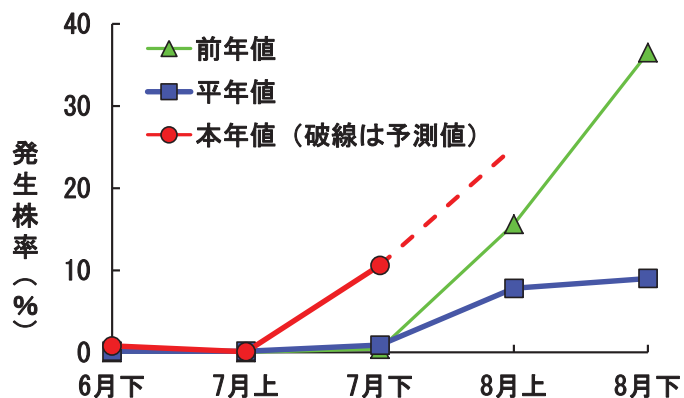


図1 普通期水稻における葉いもちの発生推移

表1 県内の普通期水稻調査圃場(48圃場)における葉いもちの発生状況  
(平成27年7月21～22日調査)

	発生株率(%)					
	0	4～24	28～48	52～72	76～96	100
圃場数	32	10	3	1	1	1
(圃場率(%))	(66.7)	(20.8)	(6.3)	(2.1)	(2.1)	(2.1)

注)各圃場において、25株ずつ調査を行い、発生株率を算出

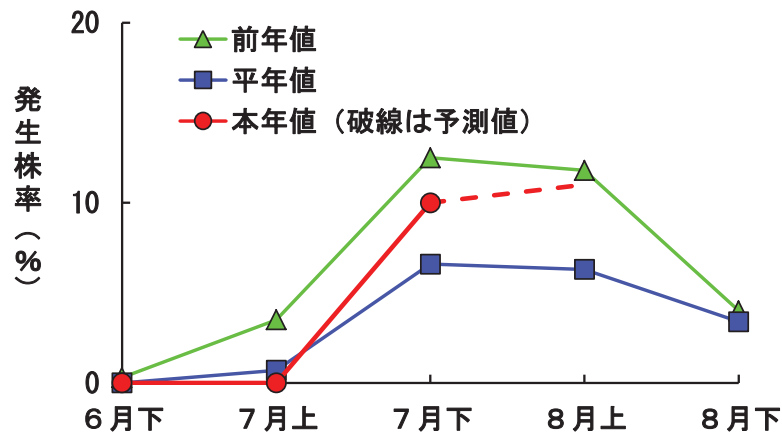


図2 早植え水稻における葉いもちの発生推移

### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 圃場によって葉いもちの発生状況が異なるため、必ず圃場を見回って、発生程度を確認する。
- (2) 葉いもちの進展型病斑がみられる圃場では、早急に防除を行う。
- (3) 葉いもちの発生がみられるほ場では、穂ばらみ期の穂いもち防除を徹底する。発生が多いと予想される場合には穂揃い期にも防除を行う。
- (4) 薬剤感受性の低下を防ぐため、同一系統の薬剤の連続使用は避ける。
- (5) 窒素過多はいもち病の発生を助長するため、適切な施肥管理を行う。



写真1



写真2

※写真1～2：普通期水稻における葉いもちの発生（平成27年7月21日撮影）